

開催日	2023年6月10日(土)
開催時間	13:30~16:50
名称	エネルギーを考える(1) ~GX 実現に向けた基本方針と電力を取り巻く最新状況~
主催	公益社団法人日本技術士会神奈川県支部
開催場所	シルクセンター 地下1階 大会議室 および Web 中継
行事内容	講演会
参加人数	85名(会場21名+Web 64名)

## 内容

### I 講演概要

#### 【講演1】カーボンニュートラル実現に向けたエネルギー方針と「大転換」政策

講師： 東京大学大学院 工学系研究科 マテリアル工学専攻 特任教授

星野 岳穂 氏 (博士(工学))

今や、カーボンニュートラルの実現が世界共通の大潮流となった。世界でCO2の主要排出源は化石燃料使用であるから、この課題解決はエネルギー政策に依存するところが大きい。そして各国・金融業界が協調して「脱炭素社会の構築」に梶を切り、巨額の資金がCO2対策に注がれていることを背景に、企業はこの機をビジネスチャンスと捉え、CO2削減の画期的な新技術の社会実装を、リスクを伴いながらも大転換を要する戦略に果敢に取り組みが進められつつある。日本でも、2021年に発表された第6次エネルギー計画で、従来のエネルギー政策の延長ではない。様々な方策が盛り込まれ。それらを政府が主導で進めるべくグリーンイノベーション計画が策定され、大規模なプロジェクトが並行して推進されつつある。しかし、世界の議論の速度に合わせて戦略を策定し発進したため、「カーボンニュートラル」「脱炭素社会」は、本当に実現できるのか、実現すると実経済にどう影響があるのか、どの戦略が全体最適なのか等、深く議論しないまま戦略を進めていることは否めないのではないかと。本講義では、政府のエネルギー政策はどう変わったのか、それらのカーボンニュートラル戦略の最新動向と、それぞれの解決すべき課題について、概説された。

#### 【講演2】最近の電力を取り巻く諸事情について

講師： 電源開発株式会社 技術開発部 茅ヶ崎研究所 土木技術研究室 専任役

仲田 貞夫 氏 (技術士(総合技術監理部門・建設部門))

至近年、電力業界に大きな影響を与える出来事が相次いで発生している。例えば、東日本大震災の際に発生した福島第一原子力発電所の事故は、日本全国全ての原子力発電所を停止に追い込んだ。これにより、電源構成の内、大きなウエイトを占めていた原子力発電がゼロとなり、これに替わり火力発電所が主たる電源となった。その結果、火力発電所から地球温暖化ガスである大量の二酸化炭素が排出されることとなった。本講演は、この様な出来事を基に、最近の電力(電力業界)を取り巻く諸事情に関して、COP21、脱炭素宣言、第6次エネルギー基本計画、再生可能エネルギーの推進、原子力発電所の再稼働及び新設の容認(政府)、予備率、休止火力発電所の運転再開、二酸化炭素の地中貯留(CCS)等について概説された。



講演 1 星野岳穂氏



講演 2 仲田貞夫氏



会場風景